

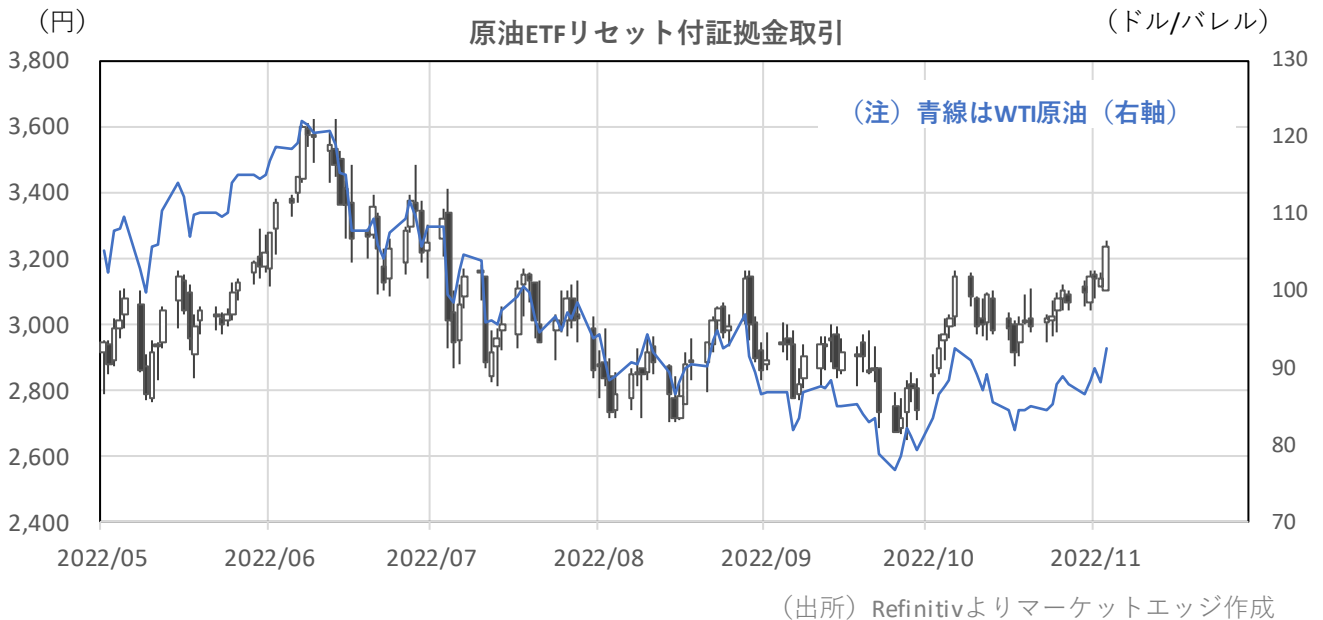
# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/11/07号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



## 供給不安で90ドル台に乗せる

NY原油先物相場は、1バレル=80ドル台後半での保ち合いを経て、92ドル台中盤まで値上がりする展開になった。需要不安と供給不安が交錯する中で明確な方向性を打ち出せない展開が続いていたが、週末にかけて供給不安の織り込みの方が優勢になり、90ドルの節目を完全に上抜いた。10月10日以来の高値を更新している。

供給サイドのリスクに対する関心が高まっている。1) 石油輸出国機構 (OPEC) プラスの減産開始、2) 10月OPEC産油量の減少報道、3) 12月からの欧州連合 (EU) のロシア産石油禁輸が迫る、4) 主要7カ国 (G7) などのロシア産石油価格に対する上限設定を巡る議論の具体化などが、全体として供給不安を高めている。引き続き需要環境に対する不信感も強いが、中国では新型コロナウイルス規制の緩和を巡る議論が浮上していることも、ポジティブ材料視されている。米連邦公開市場委員会 (FOMC)、10月米雇用統計を受けてドル主導で価格が不安定化する場面も見られたが、最終的には底固さをみせた。

米エネルギー情報局 (EIA) の米石油在庫 (10月28日時点) は、原油が前週比312万バレル減、ガソリンが126万バレル減、石油精製品が43万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

## 供給不安で90ドル台定着からの一段高を打診する

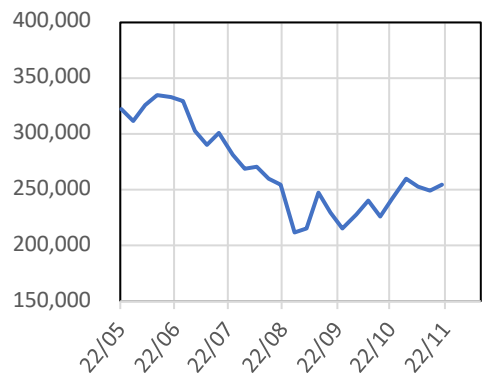
需給ひっ迫リスクの織り込みを背景に、底固い展開が続こう。OPECプラスの減産対応が始まり、更に12月にはEUのロシア産石油禁輸も予定されており、需給の引き締まりが意識されよう。需給緩和圧力のピークを脱したとの評価が強くなり易く、10月10日高値93.64ドルを突破すると、チャート主導の買いも膨らもう。

全般的に新規の売買材料は乏しいが、供給リスクにマーケットの関心は集まっている。11月からOPECプラスの減産対応が本格化することになる。実際の減産幅がどの程度になるのかは不透明感もあるが、日量100万バレル規模の減産は十分に想定できる環境にある。しかも、この状況でEUはロシア産石油の禁輸に踏み切るが、代替供給の確保が可能なのか不透明感が強い。

米政府は12月に1,500万バレル規模の戦略石油備蓄（SPR）放出を予定しているが、もはや大規模放出はこれが最後になる見通しであり、今後は逆に備蓄購入にトレンドは転換していくことになる。バイデン政権は、7～9月期決算の良好な数値を受けて、石油会社に対して改めて増産を要請しており、懲罰的な課税も示唆しているが、石油会社の反応は鈍い。

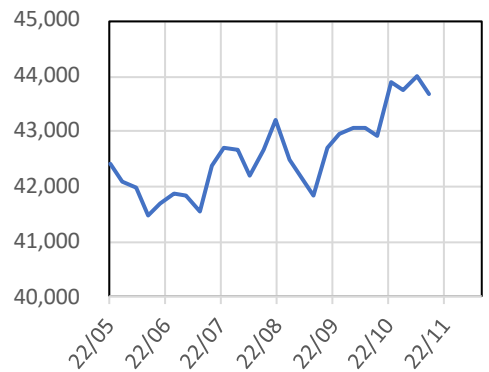
一方、引き続き需要サイドのリスクに対しては注意が必要である。中国では新型コロナウイルスの新規感染者が増加傾向にあることに変わりはなく、大都市でも行動規制導入の動きが報告されると、瞬時に急落するリスクを抱えている。各国の経済指標の下振れに対しても注意が必要。供給リスクと需要リスクが交錯する環境が続くため、一本調子の値動きにはなりづらい。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



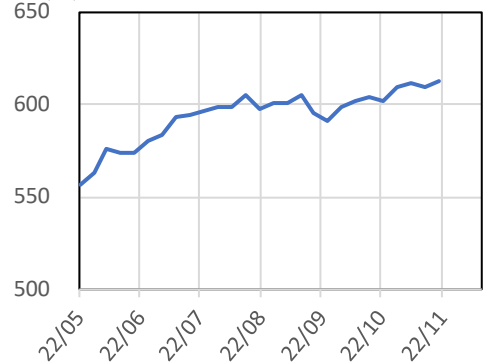
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

## 【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

## 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

